

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------------|----|-----------|
| ○事業所名 | 児童デイサービスこはる | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年2月1日 ～ 2026/2/28 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 20 | (回答者数) 19 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026/2/1 ～ 2026/2/28 | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年3月14日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--------------------------------|
| 1 | 児童及び保護者が地域の様々な方と交流できる機会がある。 | 当法人の全体の取り組みとして地域との交流イベントを企画している。その中で放課後等デイサービスとして参加し、発表の機会や一緒に楽しむ機会を提供している。 | イベントに向けた準備を充実させ、日々の支援に反映させていく。 |
| 2 | 夏休など学校休業期間中の活動が充実している。 | 屋内活動、屋外活動を両立することによって、社会経験をつむことができる。 | 集団・個別のかかわりを対象児童によって |
| 3 | 児童が作成した創作品を展示することで達成感・充実感を感じることができる機会をつくっている。 | 季節に応じた創作活動を計画し、完成に向けて楽しく取り組むことができている。 | 地域の公共スペースで作品展示を継続して行っていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 当事業所の児童は児童クラブや児童館との交流がない。 | 障がいの啓発活動が十分に進んでいない。 | 近隣の児童クラブとどのような形で接していけば良いか継続的に検討していく必要がある。すでに取り組まれている事業所があれば、情報を得ながら参考にしていきたい。 |
| 2 | 家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)の取組ができていない。 | 家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)に係る研修に参加した職員がいないこと、支援技術や知識がないことから、専門性をもって取り組むことはできていない。 | 継続課題である。職員が家族支援プログラムについて知る機会を設ける必要がある。 |
| 3 | 父母の会の活動の支援、保護者会等を開催する等により保護者同士で交流する機会を設ける等の支援の取組が弱い。 | イベント等で同席される等の機会はあるが、意図的、計画的に保護者会等の開催についての検討ができていない。 | 継続課題である。各保護者の意向や要望を把握しながら、必要に応じて実施していく必要がある。 |